

競 技 注 意 事 項

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項によっておこなう。

1 練習について

練習は、メイン競技場、補助競技場、および雨天練習場を原則とする。

①メイン競技場

- ア.トラックのみ利用を認める、ただし、競技の準備を優先とする。
- イ.利用時間は、開場から競技開始30分前までとする。
- ウ.ハードル等の道具を利用した練習はできない。

②補助競技場

- ア.レーンの使用については以下の通りである。
 - ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
 - ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
 - ・ブロックを使用時のスタート練習は多目的広場側直走路3～6レーンのみとする。
 - ・多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、10・11レーンは男子110mHとする。
 - ・リレーの練習は用具倉庫前第2コーナー付近を利用して行うこと。
※リレーの練習をする際は、周囲の安全に注意して行うこと。
※第4コーナー付近でのリレー練習は行ってはならない。
- イ.道具(マーカー、ミニハードル、ラダー等)を使用した練習は禁止。
- ウ.投てき競技(砲丸投のみ)の練習はトラック外側の砲丸投ピットで行うことができる。その際、係員の指示によって行う。

③雨天練習場

- ・雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ・雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ・ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。以外は、補助競技場で行うこと。
- ・ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ・ハードルは使用できない。

④棒高跳について

競技開始60分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がないように、審判員の指示に従うこと。

⑤投てき練習は、該当種目の招集完了時刻以降の練習はできません。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

3 アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。
ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横や後方につけること。
- ③男子共通3000mについては、別ナンバーを招集所にて配布する。

4 選手招集について

- ①選手招集場所は第2ゲート付近とする。
- ②招集時刻は競技時間を確認すること。
※1：棒高跳は、現地で招集を行う。
※2：参加人数の多い種目については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。
- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④リレーのオーダー表は招集完了時刻の1時間前までに提出すること。
招集完了時刻： 男子：15：30 女子15：20
※リレーのオーダー用紙は選手招集場所（第2ゲート付近）で配布します。
- ⑤2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑤短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑥レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑦リレー競技のマーカの使用は個人の物を認めるが、1カ所のみとする。使用したマーカはそのチームで処理する。
- ⑧跳躍・投てき競技の試技回数は3回とする。また、競技場内での跳躍・投てき練習は審判員の指示によって行うものとする。
- ⑨三段跳の踏み切り板の位置について、男子：10m、女子8mとする。
- ⑩選手は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない。コーチエリア付近（エリア指定あり）で選手に手渡して映像を見せることができる。選手が指定エリア外に機器等を持ち込むことはできない。なお、メインスタンドから撮影機器を手渡しすることは禁止とする。コーチエリアでのコミュニケーションが終了したら、速やかにコーチエリアから出ること。

6 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。

個人所有のボールの検査は最終点呼時に跳躍審判員が実施する。

②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいない。

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（ただし、天候等により変更あり）

		練習								以降
走高跳	男子	135	140	145	150	155	160	165	170	3cm 刻み
	女子	115	120	125	130	135	140	145	148	3cm 刻み
棒高跳	男子	190	200	210	220	230	240	250	260	10cm 刻み
	女子	150	160	170	180	190	200	210	220	10cm 刻み

三段跳の踏切位置は、男子 10m00 女子 8m00 とする。

8 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳

9 その他

- ① やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ② 応急処置を要する健康上の問題が発生した時は、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③ 更衣室はメインスタンド下更衣室を利用してもよい。
- ④ 記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。

○競技会で使用される主な略号について

日本語表記	略号
欠場	DNS
途中棄権	DNF
記録なし	NM
失格	DQ
標準記録突破による通過者 または順位による通過者	Q
記録による通過者	q
愛媛県新県記録（愛媛県タイ記録）	PR（=PR）
愛媛県新高校記録（愛媛県高校タイ記録）	PHR（=PHR）
愛媛県新中学記録（愛媛県中学タイ記録）	PJR（=PJ）
大会記録	NGR

第70回全日本中学校通信陸上競技愛媛県大会参加標準記録

男 子		女 子	
種 目	標 準 記 録	種 目	標 準 記 録
1年 100m	13"90	1年 100m	14"80
2年 100m	12"80	2年 100m	14"20
3年 100m	12"50	3年 100m	14"00
200m	26"00	200m	30"00
400m	1'02"00		
800m	2'20"00	800m	2'40"00
共通 1500m	4'45"00	共通 1500m	5'20"00
3000m	10'35"00		
110mH	21"00	100mH	19"00
走高跳	1m45	走高跳	1m30
棒高跳	基準を設けない	棒高跳	基準を設けない
走幅跳	5m00	走幅跳	4m20
砲丸投	7m00	砲丸投	8m00
円盤投	基準を設けない	円盤投	基準を設けない
四種競技	基準を設けない	四種競技	基準を設けない
4×100mR	1所属1チーム	4×100mR	1所属1チーム

1：参加標準記録は、上記の通りとする。

2：男子 400mについては、上記の標準記録を突破していなくても100mもしくは、200mの標準記録を突破している者のエントリーを認める。

3：四種競技については参加標準記録を設けないが、走高跳の最初の高さを、下記の通りとする。

男子・・・1m40（練習 1m35） 女子・・・1m20（練習 1m15）